

所内学術講演、セミナー、研究懇話会、ワークショップリスト

所内学術講演およびセミナー

(2015年4月1日-2016年3月31日)

下記の口頭発表(日付順)が研究所内外の研究者によって放影研広島研究所で行われた。

坪倉正治 東京大学医科学研究所研究員、南相馬市立総合病院非常勤医師、「原発23 kmでの医療支援—今現場で何が起きているか」4月2日

Harry M. Cullings 放射線影響研究所統計部部長、第290回広島統計談話会、演題「日本人原爆被爆者の被爆位置および地形による遮蔽に関するデータの改良の結果得られた線量推定値」4月17日

藤本明洋 理化学研究所統合生命医科学研究センターゲノムシーケンス解析研究チーム上級研究員、「次世代シーケンスデータの解析によるマイクロサテライト変異の検出」5月15日

Jolyon H. Hendry 元英国オックスフォード大学グレイ放射線腫瘍生物学研究所、「新 ICRP 報告書より:放射線防護の発癌的側面に関する幹細胞生物学について」5月20日

Nancy R. Manley ジョージア大学遺伝学部教授発生生物連携学科長大学院統合生命科学プログラム担当部長、「胸腺微小環境の盛衰」5月21日

藤越康祝 広島大学統計科学研究拠点広島大学名誉教授、第291回広島統計談話会、演題「主成分分析における次元の推定基準一致性」6月5日

杉野隆一 九州大学大学院理学研究院生物科学部門日本学術振興会特別研究員、「ゲノム時代における遺伝学および進化学研究」6月8日

Benjamin French ペンシルバニア大学ペレルマン医学大学院生物統計学・疫学科助教、「縦断調査における予後モデルの開発と評価について」6月10日

稲津 佑 広島大学大学院理学研究科数学専攻博士課程後期、第292回広島統計談話会、演題「パラレルプロファイルモデルにおけるランダムエフェクト共分散構造に関する尤度比検定統計量の帰無分布の漸近展開」7月3日

John B. Cologne 放射線影響研究所統計部主任研究員、第293回広島統計談話会、演題「二値データに対する一般リスクモデルから非交絡予測変数を除外する時の効果について」10月3日

若木宏文 広島大学大学院理学研究科教授、第294回広島統計談話会、演題「ランダム係数を持つGMANOVAモデルの修正AIC」11月6日

James E. Trosko 米国ミシガン州立大学小児・人間発生学部名誉教授、「がん予防と治療のためにがんの起源を理解する: 幹細胞、再プログラム化、または分化の仮説?: 突然変異、エピジェネティクス、およびパーカー仮説の役割」11月10日

David G. Hoel 米国サウスカロライナ医科大学医学部殊勲教授およびExponent社主任研究員、「放射線がんリスク推定における線量と線量率効果」12月1日

植木優夫 久留米大学 バイオ統計センター、第295回広島統計談話会、演題「不偏なモデル選択による円滑閾値を用いた遺伝的予測」12月4日

Gertraud Maskarinec ハワイ大学がんセンターがん疫学プログラム教授(研究員)・正会員、「肥満症の糖尿病と乳がんに対する影響について:アジア系人種と白人種の違いは存在するか」12月18日

橋本真太郎 広島大学大学院理学研究科特任助教、第296回広島統計談話会、演題「ベイズ型情報不等式について」11月15日

Bernd Grosche ドイツ連邦放射線防護機関電離および非電離放射線の影響とリスク部長、「欧州低線量イニシアティブ(MELODI)の背景・現状・今後の方向性」2月10日

喜多村 紘子 産業医科大学 産業生態科学研究所作業関連疾患予防学助教、「最近の研究の紹介:トナー調査、心拍数を用いた労働負荷調査」3月25日

放影研研究懇話会

(2015年4月1日-2016年3月31日)

放影研研究懇話会(コロキウム)は、正式なセミナーではなく、主として現在進行中あるいは予備的研究について発表し、所内研究者からの建設的意見を得ることを目的とする。

春田大輔、長崎臨床研究部任期付研究員、演題「放影研における心電図研究」4月17日

小笹晃太郎、疫学部部長、演題「寿命調査集団における急性放射線症状と原爆後の雨」5月15日

Young Min Kim、統計部研究員、演題「媒介影響の割合に基づく因果推論および検出力分析についての一般的説明」7月10日

中村 典、遺伝学部顧問、演題「歯と染色体による被ばく線量の評価」8月21日

吉田健吾、分子生物学(放射線生物学/分子疫学)部研究員、演題「T細胞免疫系に及ぼす放射線被曝の長期影響と代謝状態」10月2日

立川佳美、臨床研究部内科長、演題「原爆放射線の糖尿病への影響に対する研究」10月16日

Eric Grant、疫学部副部長、演題「原爆被爆者の固形がん罹患:2009年までの追跡調査および新線量推定に基づく最新の放射線リスク推定」11月5日

John B. Cologne、統計部主任研究員、演題「ハワイ大学がんセンター(UHCC)での特別研究期間 5/4-6/26, 2015」12月18日

小平美江子、分子生物科学部研究員(嘱託)、演題「放射線誘発突然変異と自然突然変異は識別できるか?」1月29日

ワークショップ

(2015年1月-2016年1月)

1. 放影研ワークショップ:生物試料の保存と活用

日時:2015年2月17日

場所:放影研広島研究所 講堂

Guest Presentations (Presentation order):

森崎隆幸、国立循環器病研究センター研究所分子生物学部長

「バイオバンクについてのELSI(倫理的・法的・社会的問題):国内のあゆみと国際規格化への動き」

竇澤 篤、東北大学東北メディカル・メガバンク機構教授

「東北メディカル・メガバンク事業-コホート調査の進捗について」

峯岸直子、東北大学東北メディカル・メガバンク機構教授

「東北メディカル・メガバンク機構のバイオバンクの管理体制」

RERF Presentations:

児玉喜明、放影研 生物試料センター長

「放影研研究の概略、生物試料センターの紹介と本ワークショップのめざすところ」

林 奉権、放影研 放射線生物学/分子疫学部副部長

「放影研における保存試料の現状と活用」

Other Guest Participant:

中島正洋、長崎大学原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理学研究分野教授

2. 第一回計画会議:臓器線量を改訂するための放影研ワーキンググループ

日時:2015年5月20-21日

場所:放影研広島研究所 疫統会議室

Guest Presentations (Presentation order):

Stephen D. Egbert、米国LEIDOS, Inc. 主任研究員

“DS86/DS02’s existing shielded fluences, method of adjoint MC calculation, and leakage tables”

Nolan E. Hertel、米国ジョージア工科大学 ジョージWウッドラフ機械工学スクール 教授 (核放射線工学) 兼 米国オークリッジ国立研究所 放射線防護知識センター

“Considerations for new calculations of organ dose using existing DS02 fluences”

Jeffrey O. Johnson、米国オークリッジ国立研究所 グローバル安全保障局 核脅威イニシアティブ 所長

“Possible use of MASH or other adjoint computational methods for new calculations with old and new phantoms”

遠藤 章、国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 副センター長

“JAERI research on relevant radiation transport calculations; ICRP/ICRU Adult Reference Computational Phantoms”

RERF Presentation:

Harry M. Cullings、放影研統計部長

“RERF draft plan for revised organ dosimetry”

Other Guest Participant:

今中哲二、京都大学 原子炉実験所 助教

3. 第二回計画会議:日米合同臓器線量ワーキンググループ

日時:2015年12月14-15日

場所:放影研広島研究所 講堂

No Presentations (Discussion only)

Guest Participants (Random order):

Nolan E. Hertel, 米国ジョージア工科大学 ジョージWウッドラフ機械工学スクール 教授(核放射線工学) 兼 米国オークリッジ国立研究所 放射線防護知識センター

Jeffrey O. Johnson, 米国オークリッジ国立研究所 グローバル安全保障局 核脅威イニシアティブ 所長

Stephen D. Egbert, 米国LEIDOS, Inc. 主任研究員

Wesley E. Bolch, 米国フロリダ大学 生物医学&放射線工学 教授

今中哲二, 京都大学 原子炉実験所 助教

遠藤 章, 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 副センター長

高橋史明, 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター グループリーダー

佐藤大樹, 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 研究副主幹

古田琢哉, 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 研究副主幹

遠藤 暁, 広島大学大学院工学研究院 教授

保田浩志, 広島大学原爆放射線医科学研究所 教授

田中憲一, 広島大学大学院工学研究院 准教授